

平成23年度第2回「仙北市立病院等改革推進計画」検証市民委員会

議 事 録

◆日 時 平成24年1月13日（金）13：30～14：45

◆場 所 田沢湖健康増進センター 地域交流プラザ

◆出席者 【委員】委員長他7名 合計8名
【市】 病院事業管理者、両病院事務長等、医療局職員（事務局）

◆検証事項 1) 市立病院の平成23年度上半期の運営状況について
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について
3) その他

1. 開会（13：35）

2. 管理者あいさつ（病院事業管理者）

大雪の中を大変ありがとうございます。今、医療の状態は非常に厳しい中でございまして、また仙北市は月に30人の減少というような状態で、人口がどんどんどんどん下がってきています。しかし、何とかこれを抑えようということは、それにはいい病院があって、いい教育施設があるということがその市の文化の指標になっています。ですから、それによって皆さんが、我々が、頑張って外へ出て行く人を止めようということではありますが、工業団地みたいなものがない、そういうものも非常に辛い所だと思います。皆東京の方へ、あるいは他の方へ行って職を探さなくてはいけない。そのようなことがありますので、何とか我々が知恵を絞って、住民を引き留めたいと思っております。たしかに仙北市の中でも、2つの病院を抱えているということは非常に大きな問題でありまして、私自身も2つの病院を抱えた市というものを経験しました。そこは、人口が11万人でした。そういう中から1つを診療所、1つを市立病院を大きくしたというような経験がございしますが、それでも9年はかかっています。病院は、非常に難しいところがあります。自治体病院だからと言って赤字でいいということではありません。また市民も同じ考えだと思えます。ただ市民が思っているほど、病院は、市民が出したお金をそのまま使っているようには私は思われません。やはり国から来るような交付税など、そういうものを使ってやっているのが現状だろうと思います。ですから、市で応分な出費というものもないと思いますが、それにしてもこれからの病院をどうやっていこうかと、それが大きな課題だろうと思います。

この会は、検証市民委員会と検証専門委員会と2つに分かれておりまして、年に2回開催することになっております。今回は2回目の市民検証委員会ですので、どうぞまたよろしくお知

恵を拝借いたしまして、この次に進めたいと思います。どうもありがとうございました。

3. 委員長あいさつ

まずは、新年明けましておめでとうございます。委員の皆様には家族おそろいでいいお正月を迎えられたと思います。本当におめでとうございます。さて、今日は大変天気の良いところでしたが、今回2回目の検証委員会ということで、ご案内をいたしましたところ、万障繰り合わせご出席を賜っております。本当にありがとうございます。今日の検証事項につきましては、2点でございます。なんら変わったことはございません。前回のような形になるかと思いますが、どうかまた忌憚のないご質問あるいはご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思います。最後までひとつよろしくお願い申し上げまして、開会させていただきます。

～前回欠席した委員を紹介～

～参与職員を紹介～

4. 検証事項

委員長

それでは、日程に従いまして、検証事項に入ります。本日の出席委員は9名中8名でございます。なお、委員長職務代理者につきましては、若干の遅れがあると届出があります。それでは会議を開きます。まず最初に、検証事項1と2を一括議題といたします。市立病院の平成23年度上半期の運営状況についてと、仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況についてを一括議題として説明を求めます。

資料説明（事務局：医療局）

- 資料1 「平成23年度上半期仙北市病院事業の総括事項」
- 資料2 「平成23年度上半期仙北市病院事業の実績」
- 資料3 「両病院上半期年次別入院・外来患者の実績」
- 資料4 「両病院等上半期地区別利用者数（入院・外来）の推移」
- 資料5 「両病院上半期収支決算の状況（過去3年分）」
- 資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

委員長

検証事項につきまして、説明が終わりました。委員の皆さんからご意見あるいはご質問等受けたいと思います。

ご質問、ご意見ございませんか。

委員長職務代理者

この推進計画の検討中の中で、市長さんが角館と田沢湖の本院、分院化の凍結を表明して

いるんですが、これの主な理由はなんですか。一つ二つわかりやすい理由がもしあったら教えていただきたいと思います。

委員長

どなたか答弁をお願いします。

事務局（医療局）

実はこの推進計画を策定した時に、この⑧の隣に書いてありますように、市立角館総合病院を本院、市立田沢湖病院を分院として、病院事業を一元化するという目標でありましたけれども、市長は本院分院でなく、角館であれ田沢湖であれ仙北市の病院事業は1本であるということから、この文言を凍結したということでございます。

委員長

最後のところをもう1度。

委員長職務代理者

いずれ一本化するということは、市長さんは問題ないと言っているのですか。

事務局（医療局）

本院、分院という表現そのものがおかしいのではないかと。ただ国から示された目標では、こういう本院、分院という言葉を使っていますけれども、仙北市としてはあくまでも両方一緒という考えのもと、市長が表明したものです。

委員長職務代理者

はい。わかりました。

委員長

他にありませんか。

委員

という意味は、本院、分院ということでなく一緒に経営していきますよということですか。

委員長

市立病院はどこまでも田沢湖も角館もありませんよという解釈でよろしいですね。
他にありませんか。

委員

最初の資料1で、田沢湖病院の下のところに、今後とも地域から信頼される病院経営を行

うため、より一層の努力をして参りますと書いてありますが、具体的にどういう事を今の時点で行っているのでしょうか。

事務長（田沢湖病院）

上の方の角館総合病院の方にもありますけれども、下の方の3行目から2行目にかけてですけれども、行政の協力を得ながら医師確保に努めるとともに、地域の中核病院としての使命を認識して、経営の安定合理化に向けて、なお一層努力していきたいと、田沢湖の場合は同じなんですけれども、途中、去年も含めてですけれども、赤字が続いておりますけれども、今赤字解消に向けて鋭意努力しておりますが、今後も引き続き努力していきたいという意味でございます。

委員

医師確保は、どのくらい進んでいるのでしょうか。

病院事業管理者

本当に難しいです。秋田県がこれほど医師不足であるということは知らなかったんですが、何しろ今はこの医療においては、医師と看護師を集めれば何とかかんとかゼロに行くというのが現状でして、やはり診療をする、それによって報酬をもらうという立場からはやはり医師不足というのは大きな問題でありまして、今これから医師不足に対して、一生懸命やっていますけれども、すぐ結果が出ないというのが残念ですが、やはり各大学の方に行って、研究費を出しますよということから始まっていますが、今ちょうど皆さんもご存じのように、新研修医制度が始まったということが、今回のものすごい損失でありまして、その新研修医制度は別に悪いものではないんですけれども、もう5、6年待ってからやってもらった方がちょうどいいのではないかと。言うのは、医師がいなくなっちゃうんですね。2年間医師がローテートしてしまう。それで一応医師は医師なのですが、それが一本立ちしていないということですから、そこが問題で、これから、私の考えでは、あと10年もたてば、秋田の方も浸透、潤ってしっかりと医療が出来るだろうと思います。先ほど言いましたように、医療がしっかりしていないとその地域の文化度が疲弊しますから、そういう点ではやはり医療を先に、教育もそうですが、そういうことを先に考えてやってかなければいけないだろうと思います。

委員

それにプラスして、小児科の方は今どういう状況になっているのですか。小児科に行くことがなくなったので、わからないのですが、要望としては、小児科の方をきちんとしてほしいのですが、その点をよろしくお願いします。

病院事業管理者

重々わかっているのですが、小児科医に関しては、どこの県でも不足しています。なぜか

たとえば、やはり1人2人しかいないと、夜中でも起こされてしまう。7人小児科医がいればいいですよ。7人いれば当直はできますけど、1人2人だと毎日起こされてしまう。それはやっぱり小児科医が悪いというのではなくて、そこに住んでいる住民の理解が必要だと思っただけですね。熱があると、お父さんが帰ってきてから、車に乗って診せに行こうとなりますと、8時、9時なったりします。また夜中になって発熱もしたりして具合も悪くなったりする。本来なら、もう少しお母さん達の理解があれば、小児科医の方も楽になるのではないかと思うのですが、今の状態では、どこの県に行っても小児科は少ない。長野県の方は少ないとは言っても、それほど減ってはいませんが、ここの仙北では非常に少ない。ないと言っても過言じゃないかなと思います。

委員長

他にありませんか。

委員

ドクターヘリが今度始められることになりましても、仙北市の方ではどういうふうになりますか。提携とかどんな感じですか。

病院事業管理者

ドクヘリに関してはですね、非常に難しいです。ドクヘリを1つ持つと、だいたい7人ドクヘリ用の医師を集めなきゃいけない。というのは24時間勤務になりますから、必ず医師が乗っていかなければいけない。そしてこの地域は雪が多い。山が多いので、本当にドクターヘリが飛んでいくという機会が非常に少ないと思う。ですからそういう点では、ドクヘリに関しては、この地方は、私はむしろ救急車ですっ飛んで行った方がいいのではないかと思います。まあ県の方では、秋田の方で考えていると思いますが、仙北市にはまだその考え方は来ておりません。非常に難しいです。長野県でさえ、あんな広いところでも、ドクヘリは2つしか取れない。一つは東信、一つは中信ということになっていまして、私がいた飯田市立病院でもちゃんとした国際規格のヘリポートを作っていたのですが、最終的にはダメでした。ヘリコプターはだいたい3日に1回は飛んできますけど、ドクヘリになりますとやはりドクターがついていないといけないという厳しい状況の下にありますので、秋田県ではどうなっているか私はちょっと存じ上げません。長野県の方ではそういう状況です。

医療局長

ドクターヘリについて、国の施策で動かすと言うことで、各県1機という配置になる予定で今進められています。秋田県の場合は、我々が直接担当しているわけではないので、行政側が担当するので詳しくはわかりませんが、たぶん秋田日赤が中心となって運営していくと思います。角館の場合はたしか田町山がヘリポート指定されたというふうに聞いてました。田沢湖はどこが指定になったのか私たちとしては情報を持ち合わせていないんですけども、いずれ何かあれば飛んでくる。運ぶ場合は日赤ということになると思います。ただドクター

ヘリはそんな感じで動かしますが、県でも災害関連のヘリを持っていますので、そういう意味では使える部分は使えると思います。ただ夜間がダメだとかいろんな規制が入ります。24時間フルで動かすということにはならないと思う。詳細にわたってこのように運用の仕方をしますよというのは、病院サイドには示されておりませんので、たぶん行政側を通じて、そういう話はされるだろうと思っています。

病院事業管理者

ヘリに関しては、よくテレビで屋上にヘリポートがありますが、あそこに降りるパイロットは嫌がって降りないんですよ。と申しますのは、横風がバーッと吹きますから飛んでいって、そのまま落ちたということもありますから、絶対平地のところコンクリートで固まった所、もし畑の様なところに降りるとしたら、水をまかないとヘリコプターがホコリを吸い込んで、故障してしまう。だからきちんとコンクリートで固めておいて、十文字のライトをつけるというような形にする。しかも今局長がおっしゃったように、暗くなったら絶対飛ばない。飛び立っても世界規格のあるところであれば、降りることは出来ませんが、飛び立つことは出来ない。秋田空港においてあるとすれば、明るいからそこまでは行けると思いますが、何とかヘリコプターを運用したいと思いますが、使用頻度からいけば、それほど多くはないだろうというふうに考えております。

委員長職務代理者

ドクターヘリとは話が違いますが、酔っぱらった人が突然転んで、頭かどっかから血を出して救急に行った時、すぐ診てくださったのですが、お医者さんから帰宅、帰宅と何もないとレントゲンだけ撮って、忙しい中でそういう処置だったらしく、私ももう少しドクターに協力して落ち着いて、大したことはないかもしれないと思って何か処置を先にすればいいのに、血を見て倒れているとすぐ救急だとなるんですよ。私たち市民もすぐ医者だ、手が切れたから医者だと行けば、お医者さんも不足なのにもものすごく大変で、長時間待たされてとか言うから、私たちも勉強なり、テレビなりを見て賢くならないといけないですよって思うことがありましたし、今もなるべく勉強しようと思っています。どうしようもない時は助けてもらわなきゃいけないし。

病院事業管理者

なるべく一人で勝手に判断しない方がいいです。簡単なようで後で具合が悪くなれば困りますから。遠慮なさらずに行って、一応頭を打ったならレントゲンだけでわからないので、CTかMRIを撮っていただいた方がいい。

医療局長

よく議会でもそういう質問をされることがあります。市長のところにもよく苦情が行っていて、私ども言われることがあります。決してお医者さん達は遊んでいるわけではなくて、少ない医者の中でてんてこ舞いしてやっているのが現状です。忙しくても説明をちゃんとし

てもらえば、納得してもらえと思うのですが、そういう部分もなきにしもあらずで、ご迷惑をかけている部分はあるかと思えますけれども、出来るのであれば、簡単に自分で考えなくて、救急車を呼んで病院の方へ行ってほしいなと思っています。中には私も病院にいた経験が長くありますのでよくわかりますけれども、午後から電話をよこして、これから行くから診てくれという人がいるんですよ。そういう人達も含めて、議会はみんな病院が悪いと言うんですけれども、たくさんお医者さんのいる中でやれるのであれば、問題ないわけですけど、ホントに少ない中で、さっきの小児科がないなど、いろんな事を言われますけれども、いない中でやりくりしてやっているのが現実ですので、出来れば救急車か何かで来ていただければ、きちんと対応すると思えますので、そこは誤解のないように、ひとつお願いしたいと思います。私どもも病院サイドにきちんと申し上げておきますので。少し説明を丁寧にするというのをお願いしておきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

病院事業管理者

是非、自己判断をしないように。

医療局長

救急車で運ばれた場合は、診ないということは一切ありませんので。

病院事業管理者

ただタクシー代わりに使うのは勘弁してもらいたい。救急車で来るのは、ある程度の重症度があると判断しますので、すぐ拝見するようになると思います。

委員長

他にありませんか。

委員

非常に少ない人数で一生懸命ご努力されていると思えますけれども、ちょっと思うところがあるのですが、診察が終わった後の会計のところ、結構待たされている人が多いですね。他の病院を見た時に、たとえば組合病院さんは、会計の窓口が3つぐらいあって、紙を一人持って行けば、その場ですぐ会計するというシステムで、まず並ぶ場合もあるかも知れませんが、紙を出せばすぐその場で会計が出来るというシステムですよ。他にも、もしかすればもっと効率的なやり方があるかも知れないんですが、もし今度新しい病院になって、会計のところを何かいい方法を考えてもらえば、もう少し待たされないというか、いい状況のものにしていけば、そこを是非お願いしたいなと思っています。

病院事業管理者

本当に大事なご意見ありがとうございました。運用方法が問題だと思います。その他にもいろいろな工夫がありますから、速やかに会計が出来るように、待つのは仕方ないとしても、

会計は早くやるというようなことを考えたいと思います。

委員長

他にありませんか。

委員

人口減と連動して利用者数はどうしても減って行かざるを得ないとは思いますが、今のところ適正病床数、角病さんが295を今のところ設定しているみたいですが、今後の動き次第では、新しい施設の病床数等も更にもっと減っていくというのがあり得るのでしょうか。

医療局長

簡単に言えば、仙北市の地域に住んでいる患者さんというか需要がどれくらいあるのかといえば、統計的に出ています。したがって、その分を男鹿でも北秋田からでもこっちへ来るというのはほとんどないので、精神とかは特殊なのですが、一般病床ではほとんどそういうのは、よほどの技術を持っていて、あそこの病院がいいというのであれば行くでしょうけれども、そうでない限りはまずないと思います。そういう意味からして仙北市を見た場合に、どれくらいあればいいだろうかと考えれば、私としては270~80床ぐらいでいいと思っています。さっきどなたか病院が一本化なるのかならないのかという話が出ましたけれども、機能としては田沢湖の方が60床あるわけですから、不足する部分だけを用意すればいいだろうというのが我々の考え方です。ということは280床だとすれば、220床あればいいだろうという考えです。そうでないとさっき言ったように、両方の病院を私は残せないだろうと思います。だからその需要が今回仙北組合、厚生連が建て替えるんですが、今512か3ぐらいだと思いますが、440床まで落とします。それと同様に角館も仮に建て替えしていくということになれば、今の295床が必要かと言えば、いらぬ。トータルで仙北市では270なり80床あれば間に合うだろうとは思っています。ここはもうこのとおり建っていますので、この病床数を見直すとすれば、それはそうでしょうけど、仮に60をそのまま使うとすれば、不足する分だけ200ちょっとあれば、間に合うのではないかという考え方がベースにあります。余計なベッドを持つということは、スタッフもそれなりに準備しておかないといけない。100%入院されるのであれば、よろしいのでしょうかけれども、田沢湖も角館もさっき言ったお医者さんの数ですべてここで出来るわけではないわけですから、出来る部分をここでやるという考え方ですので、それで出来ない部分は日赤なり大学病院なり大きい病院にお願いするという考え方になると思います。そういう考え方をベースにして、ベッドを考えていかないとあとあと大変になるなという考え方はあります。従って今の状況からすれば、多い状況だと判断しています。だから段階的に角館は少しずつ落として来ている。私がいいた当時で380床ありましたから、だいたい85床ぐらい減ってきています。もう少し落ちて十分間に合うだろうとは思っています。まあこれが、先生達何十人も集まってきてやれるというのであれば、また考え方は別になるでしょうが、現状としての医師確保

は正直言って難しいです。だからやれる分だけのベッドを持ちたいというのが本音だというふうにご理解いただきたいと思います。

委員長

他に、何かありませんか。他になければ、検証事項1、2についてはこれで終わりにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

では、1、2については、終わることにします。

せっかくの機会ですので、その他もありますから、その他も出たようですがもしありましたら。もし事務局の方でも結構ですから、その他でありましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局（医療局）

事務局の方で、その他の議案としての資料等々は準備しておりませんので、もし委員の方々からこの資料に関係のないことでもせっかくの機会ですので、いろんな意見交換等あればとその他を設けてありますので、よろしくお願ひします。

委員長

という事のようなので、もしあれば。

委員

角館の公立病院の建て替えに関することについて、差し支えのないところで、教えていただきたいと思ひます。

医療局長

まずひとつは、昨年でしたけれども市長が病院建て替えをしたいと表明をされまして、それを受けて、用地の候補地の選定をするための委員会を立ち上げました。委員会の立ち上げについては各病院の院長、副院長、診療所の先生方、医師会の代表、それと市民の代表の方々に各地区から入っていただきました。その中で最終的には4カ所に、もっともった出たのですが、狭かったりいろいろなことがあって、4カ所に絞られました。その時点で委員会としては、市長に答申書をお出ししています。

その4カ所の一つは東小学校跡地、それからもう一つは、岩瀬下夕野地区という所で大威徳橋わかりますか。ユーマートから白岩に抜ける旧県道から入って黒沢製材の工場がある付近です。それからもう一カ所は落合野球場の反対側と南校跡地が最終的に残りました。残った理由はいろいろあって、まず一つ、一番大きい要件は面積要件です。基本構想としては、35,000平方メートル、3町5反歩ほしいということになっていますけれども、最低でも30,000はないと間に合わないということで、今の角館病院の敷地というのが14,000ぐらいです。あのおり狭くて一部借りている。どうして舗装されないのかという苦

情が言われていますけど、そういうような状況で、14,000ぐらいの面積でやっています。あれじゃあ救急でなんともならないような状況でして、30,000から35,000ほしいということで、角館の中で考えれば、だいたいその土地を持っているのはそんな所です。後は大威徳下とか駅東とかいろいろ話が出ましたけれども、地盤の関係とかいろいろなことがあって、残ったのがその4カ所でありました。なぜその南校なのかということも出ましたけれども、南校はその時点で、県がはっきりとした方針を表明されていなかったもので、将来その高校が残らないという事を前提だとすればそこもいいという意見として出されたということは、誤解のないようお聞き願いたいと思います。高校統合に向けて、支障になるために出したという事では決してありません。その後県が高校統合になって、あそこは残すという考え方になったのですから、実質は3カ所に絞られたということです。それで委員の方から真ん中の神代だとかという意見も出ました。もう少し西木寄りとか神代寄りとか田沢湖寄りとかという話も出ました。なぜそういう事で、まとまらなかったかというのは、田沢湖病院との兼ね合いです。さっき委員長からも言われましたように、機能としては一本化していきたい。しかし、施設としては角館も田沢湖も残したいというのが市長の考え方です。機能は一本化していきたいけれども施設としては、ここは建ててしまっているの、2つ残したいというのが市長の考え方です。その考えが絶対いいのかどうかは、それは市民の皆様が判断することですから、私どもどうのこうの言える立場ではないんですけども、そういう考え方でいる訳です。

それで、今病院というのは、角館もそうですけれども、田沢湖もそうですけれども、国からのいわゆる地方交付税を受け入れて運営しています。それは市役所もそうですけれども、自分たちの入院とか外来で入った収益だけで病院が運営されているものではないです。交付税措置というものがあります。田沢湖も角館も入りますけども、角館と田沢湖が接近しますとダメと言うことになってしまいます。そうすると今の状況の両病院とも経営は非常に苦しいわけですから、それは避けたい。だからここはもう建っていますので、ここから最低15キロは離さないといけないわけですから、その圏域の中に入ってきますとこの病院の交付税はなくなっちゃいますので、だからそれを避けるために、そこまでは離したいということです。それと診療所の問題もあります。同じような考え方で神代診療所あります。西明寺の診療所もあります。

そこから4キロは離し、田沢湖から約15キロは離さないといけないということになれば、旧角館の中に絞られてくるのは、必然的な考え方だということです。

私どもとしては、もう一つ考え方があって、さっき資料で説明したように、角館病院の患者の動向を見ますと、中仙サイドからいわゆる大仙の一部から来ている患者さんというのは非常に大きい訳であります。10何パーセントを占めると事務局で申し上げました。参考までに仙北市から仙北組合に流れているのは8パーセントぐらいです。角館病院をどこかに建てて運営していく時期にその患者数というのは、どうしても経営上あてにするというか、そこを除いて経営というのは非常に厳しいという現実もあります。したがって、そういった大きい問題二つを抱えていった場合に、どこかと考えれば、どうしてもそういうような場所に限定されてくるというのは、必然的な考え方になるのかなと思っています。その上で市長は、

議会の考えも聞いて最終的にそのうちどこにするかということ判断しますと申し上げているわけです。現在議会としては、昨年12月定例会の冒頭で、病院建設特別委員会を立ち上げました。議員の皆さんの半数が委員として入っていますけれども、そこでの意見のやりとりをすでに開始しております。議会としては、たぶんだと思えますけれども、2月いっぱいぐらいで、議会としての考え方をまとめたいという話を私どもは承っております。したがって、それが終わるとその意見も参考にして、市長は最終的にこの場所へと表明するのではないかというふうに思っています。さっきの組合病院は、大曲の市街地再開発計画の中で、場所は旧ヤマサの跡に建てると決まっています。だから市長の言葉を借りると、それから極端に遅れることのないような時期に建設をしたいというふうな基本的考えを持っていますので、今年度末ぐらいまでには、遅くとも場所については、決定していただかないと、なかなか間に合わなくなってくるということです。1年2年でできるものでは決していない訳ですから、そういうような順序といいますか段取りで行くのではないかなというふうに思っています。私どもが言えるのは、そこまでであります。よろしくお願いします。

委員

ちょっとお願いがありますけれども、今の案の中にひとつたしか東小学校の跡地があったと思えますが、患者さん全員が車で行く人ばかりではないので、出来れば山の上ってというのは、ちょっと避けてもらえれば、患者サイドとしてはありがたいかなと思います。冬場滑るあの坂を登っていく、もしかして土盤を下げるかも知れませんが、出来れば平地の方が理想的なような気がします。それから、これも一つ出来るか出来ないかわかりませんが、たとえば産婦人科というのは、良く話を聞くのは、お母さん同士の間で情報をやりとりして、あそこの産婦人科病棟はとてご飯がおいしくて、あそこいいよとか、料金の面でも徳だとかというやりとりをやって選んでいく人もいるみたいなんです。もしそういう、当然技術的な部分も大変重要な部分ですけども、ソフト面でいいアイデアを出せるようなところがあれば、そういったいろんな意見を取り入れてもらえれば、あちこちからこれからお子さんを産む人がここの病院に集まってくる事も、もしかすればあるのではないかなというふうに思っていますので、是非ご参考にまでにとということです。

医療局長

最初の件ですけれども、選考過程の中で、どうしてもこれから高齢化は止まる訳ではなく進む状況であります。したがってあそこは坂になっているわけで、どうだろうという意見も出たことは確かであります。だから今出された意見については、そういう意見もあったというのは、なんらかの形でお伝えをしたいと思います。それと産婦人科の件であります。産婦人科については、もちろん病気ではないわけですし、そういう面っていいですか、サービス面ってというのは必要だろうと私も思います。あのおり角館病院は病院全体がもう古くなって、狭いし何ともならない状況なんですけれども、今出された意見は病院の先生達の方に、いずれ議会と病院の中の先生達と私どもで今月の26日も委員会をやるので、そういう意見も出されたよという事はお伝えをしたいと思います。いろいろたくさんそういう要望とい

うか意見はあろうかと思しますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員

これも出来るかどうか分からないんですけども、一つの集客の参考までにという事で、病院の中に託児所みたいな所を作って、たとえば赤ちゃんを抱えて、上の子も連れてきた時、上の子だけでもお母さんがかかっている間に見てくれるとか、あと看護師さんの子供とかも、看護師さんを集めるにあたって、私ハッピーマムというのをやっていますけども、産休が終わった後に4月からは入れるのだけど、その途中では保育園が満杯で入れないという時に、新生児を預かってほしいと頼まれるんです。やはり看護婦さんに働いてもらいたいというのであれば、看護師さんの子供さんも見れるような場所がほしいと思う。やり方はたくさんあると思うんですけども、そういうような一画もあれば、あそこに行けば子供を見てもらえるよみたいな感じで、若い人達も集客できるのではないかなと思ひます。でもそれは保育園じゃないので1日いっぱいではないけど、ちょこちょこ見てもらえるのが、お母さん達にとっては魅力なのではないかなと思ひるので、そういうところも一画設けてもらえれば、ちょっと集客のヒントになるのではないかなと思ひます。

医療局長

今出されたことは、当然私共も頭の中にありまして、これからはそうだろうなと思ひています。ただこれは決して弁解ではないんですけど、前に私がいた時、病棟、病床が多いので、つぶしてそういうのをやろうかという話もしました。アンケートを取ったことありました。ただその当時はなかなか否定的な考え方が多くて、働く人は特にそこまでして、やりたくないという人が多かったです。今はまた逆なのかもしれません。ただ患者さんで来られる人は、子供を少し預かってほしいという気持ちはよくわかります。だから24時間やれるのかはともかくとしても、何らかのそういう対応は必要だろうとは今の病院の人は、きっとそういうのは考えていると思ひますので、出された意見はさっきと同様、お伝えをしておきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

委員長

他に、まだありますか。なければこれで終わりたいと思ひます。委員の皆様には本当に足下の悪い所、お集まりいただきましてありがとうございました。今日の検証市民委員会はこれにて終わりにしたいと思ひます。最後まで皆さんご苦労様でした。ありがとうございました。

(終了14:45)